

1.4 コンピュータをめぐる歴史

→ 「モジュール化・規格化の流れ」

「専用」品から「汎用」品へ

→ 「専用」品はユーザにとっては不便・金銭的な負担

問) 身の回りで規格化されているものについて考えてみましょう

問) 規格化された先には何がある？どんな扱いになりますか？

(⇔ ブランド戦略)



歴史 = 製品の移り変わり

(CPU もプリンタも表示装置もハードディスクもみんな歴史を持っている・・・)

↓

生き残ってきたものが、現市場に出回っている

→ 生き残った理由は様々…

↓

デファクト(de facto) スタンドアード

業界標準, 市場標準, **事実上の標準** (⇔ 公的標準)

→ 当然、生き残った会社の影響力は増大

↓

デファクトスタンダードの規格で構成されているといえる ⇐ この規格を整理する必要性

課題) 身の回りで「デファクトスタンダード」といえるものは？何がありますか？

1.5 コンピュータ・パソコンの構成要素

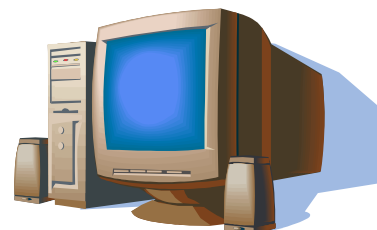
→ 「コンピュータの中身・価値は？」

問) 「コンピュータが動作する上で必要なもの」は？

・・・何をもって「動作に必要」とするのか考える

今学内にあるデスクトップ・コンピュータ(自習室・実習室 PC)の例を考える

- ・ 本体
 - DVD ドライブ
 - スピーカー(音源)
 - ネットワーク
- ・ キーボード・マウス
- ・ モニター



などが認識できる ← 「5大装置」に分類・理解

本体の中身は？どうなっているのか

何が**性能**や**価格**を決めているのだろうか？

デザイン？ 大きさ？ ⇒ 「中身」の「性能」が大きい要素のはずだ！

問) 書き出した部品(パーツ)のなかで、一般的にもっとも高価なものはなにか？

→ パレートの法則的発想で・・・

復習 1)

コンピュータ概論でのハードウェアに関する学習からは・・・

1) コンピュータの5大装置の分類

2) 具体的な例としては・・・

- ・ CPU
- ・ キャッシュ・メモリ
- ・ 主記憶(メモリシステム)
- ・ 補助記憶装置(ハードディスク/DVD)
- ・ 入力装置(キーボード/マウス)
- ・ 出力装置(グラフィック表示, プリンタなど)
- ・ 入出力汎用インターフェース(USB など)

などで構成されることを学んだ。

復習 2)

たとえば、**CPU** の性能はどうやって決まるのか？

性能を測る単位は？

これまでの学習範囲で考えれば、

- ・ **ビット数**
- ・ **クロック周波数**

などから大まかな性能を判断することができた